

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 20 (一)

東北森林管理局

取組名	職場体験（新規）
流域名	東青流域
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	○字西大川平山国有林947林班ほか ○平成25年9月3日(火)～5日(木)
取組の背景及び必要性	キャリア教育の推進にあたり、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを目的に職場体験の受け入れ要請がある中で、森林・林業への理解と森林管理署等の役割を積極的にアピールするため支援していく必要がある。
取組の内容	<p>青森市立北中学校2年生3名を3日間に渡り庁舎内・外において森林・林業の役割、森林管理署の業務内容等について説明及び体験をした。</p> <p>○立木の胸高直径の測り方、樹高の見方を体験して、仮想で収穫区域を定め、蓄積の求め方を勉強した。 ○立木が丸太になるまでの伐倒、造材、運搬、巻立、検知までの工程を現地で見学した。また、鋸で除伐を、検知では記号印の使い方を体験した。 ○製材工場で丸太が製品になるまでの工程を見学した。 ○レク森の遊歩道を踏査して、危険箇所に注意喚起の表示をした。また、同レク森内の治山施設等の解説をして、理解を深めた。</p>
国有林担当部局・役割	青森森林管理署 (フィールド提供、指導・支援)
連携協働相手先・役割	青森市立北中学校
取組の結果、反響、今後の課題等	森林・林業及び、森林管理署等の役割について理解を深めた。なお、各校の年間行事計画により職場体験が同一時期に集中する傾向にあり、今年度の場合は受入れ対応力の限界から、お断りした学校もあった
PRの実施状況及びその期待する効果	森林・林業の普及啓発、国有林への理解と関心の高揚

【参考資料】

取組名	職場体験(新規)
<p data-bbox="220 360 703 394">庁舎内で森林の役割等の説明を受ける</p> 	<p data-bbox="794 360 1241 394">高性能機械による造材作業を見学</p> 
<p data-bbox="252 824 667 857">巻立て現場で検知の体験をする</p> 	<p data-bbox="850 831 1177 864">製材工場で説明を受ける</p> 
<p data-bbox="264 1330 655 1364">輪尺により直径の計測を体験</p> 	<p data-bbox="778 1319 1230 1352">危険箇所へ注意喚起の看板を設置</p> 

平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 21 (当初計画 : No. 18)

東北森林管理局

取組名	森林環境教育 (継続)
流域名	東青流域
分類番号	カ-31
実施箇所及び実施日	字前嶽国有林237林班内 蓬田村立蓬田小学校内 平成25年9月28日(土) 平成25年10月29日(火)
取組の背景及び必要性	森林・林業の普及啓発に向け社会貢献活動及び学校教育環境等の一環として森林環境教育の支援を行う必要がある。
取組の内容	<p>○法人の森での森林環境教育 「ドコモ八甲田萱野高原の森」においてドコモ青森支店、青森森の会の共催で、一般公募及び社員家族を含む約150人の参加者を対象に自然体験学習を開催した。 この活動は平成17年から毎年実施しており、今年は企業の特性を生かして紙芝居の絵をタブレット端末でも見られるよう試み、紙芝居と併用して参加者の反応も良好であった。</p> <p>○森林環境教育の出前授業 遊々の森締結相手の蓬田村から平成18年から続いている蓬田小学校5年生に対する森林教育の講師派遣があり、蓬田村内の森林の状況、森林の役割等について紙芝居「森からのおくりもの」を交えて判りやすく説明をしました。また、郷土樹種の青森ヒバを用いて「びゅんびゅんコマ」作りを体験し、郷土の森林への関心が高まったものと思われた。</p>
国有林担当部局・役割	青森森林管理署 (フィールドの提供、参加、指導)
連携協働相手先・役割	企業、学校 (企画、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	いずれも支援により、森林への興味を持ってもらえた。今後も各種要望に積極的に対応する考えだが、メニューの充実を図り形骸化しないような工夫や人材育成が重要となっている。
PRの実施状況及びその期待する効果	森林・林業の普及啓発、国有林への理解と関心の高揚

【参考資料】

取 組 名 森林環境教育（継続）

○法人の森での活動

一般参加を交えた集合写真



職員の熱演による紙芝居



紙芝居の同じ絵をタブレットに写して



びゅんびゅんコマ作りの一コマ



○小学校への出前授業

職員による授業風景



完成したびゅんびゅんコマ回し



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 22 (当初計画 : No. 19)

東北森林管理局

取組名	植樹等フィールドの提供 (継続)
流域名	東青流域
分類番号	カー 32
実施箇所及び実施日	字内真部山国有林 4 林班内 平成 25 年 5 月 26 日 字水ヶ沢山国有林 431 林班ほか 平成 25 年 6 月 15 日 字馬場山国有林 301 林班内 平成 25 年 6 月 22 日 ほか
取組の背景及び必要性	ふれあいの森、社会貢献の森等のフィールド提供を行い、イベント等を通じ体験林業・交流活動をする中で、森林・林業の普及啓発を行う必要がある。
取組の内容	<p>【 内 容 】</p> <p>○ふれあいの森での植樹体験 眺望山自然休養林「生協ふれあいの森」において、青森県生活協同組合連合会が「第 13 回生協ふれあいの森植樹祭」を開催し、組合員等 35 名で青森ヒバ 200 本の植樹を体験した。</p> <p>○社会貢献の森での植樹体験 NPO 法人白神山地を守る会が「第 3 回陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭」を開催し、一般市民を含む約 150 名でブナ等広葉樹 600 本の植樹を体験した。</p> <p>○体験林業 沖館地域緑の募金推進協力会により、ヒノキアスナロ緑の少年団及び保護者等 41 名を対象としたつる切り・枝打ちの体験をした。</p>
国有林担当部局・役割	青森森林管理署 (フィールドの提供、参加、指導)
連携協働相手先・役割	ボランティア団体等 (企画、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	フィールドは、相手方の要望を最大限取り入れて提供しているところであり、分収造林等の伐採跡地についても「社会貢献の森」等として積極的に活用していく考えであるが、植栽の要望は多いものの、その後の保育作業の要望が少ない状況である。
PR の実施状況及びその期待する効果	森林・林業の普及啓発、国有林への理解と関心の高揚

【参考資料】

取組名 植樹等フィールドの提供

ふれあいの森での活動



ふれあいの森での活動



社会貢献の森での活動



社会貢献の森での活動



体験林業



体験林業



平成 25 年度 流域管理の取組結果表

No. 23 (一)

東北森林管理局

取組名	地域住民等への治山事業の PR (新規)	
流域名	東青流域	
分類番号	カ-27	
実施箇所及び実施日	長屋形国有林 504 林班内	平成 25 年 10 月 28 日
取組の背景及び必要性	国民の生命・財産を守るため山地災害の未然防止に努めるとともに災害発生箇所の早期復旧に取り組んでいる治山事業と保安林の役割等を地域の小中学校、住民等に理解してもらう必要がある。	
取組の内容	これまでも、森林教室等あらゆる機会を捉えて生活に密着した治山施設及び保安林等の PR に努めてきているが、双方向の受発信に資することを目的として、外ヶ浜町弥蔵釜地区住民を対象に町担当者を交えた治山工事の施設見学会を開催した。	
	国有林担当部局・役割	青森森林管理署 (資料作成、指導)
	連携協働相手先・役割	地域住民、町担当者
取組の結果、反響、今後の課題等	普段馴染みの薄い治山施設等の意義及び役割等の理解を得られたが、治山施設の見学会等は、受益対象が同一傾向にあり同一地域及び同住民が対象となることが多いため継続しての開催は工夫が必要である。	
PR の実施状況及びその期待する効果	森林・林業の普及啓発、国有林への理解と関心の高揚	

【参考資料】

取 組 名 地域住民等への治山事業のPR（新規）

治山施設の説明風景



完成した施設の全景



配付資料の表紙

